

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回吉川市子どもの貧困対策推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和6年1月29日(月)午前10時から午前11時00分まで
開 催 場 所	305会議室
出席委員(者)氏名	大岡 華子委員長、山崎 純子副委員長、戸張 計子委員、 大村 仁也委員、久保 健丸委員、清水 孝二委員、 長瀬 裕子委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	伴こども福祉部長、岡田こども福祉部副部長兼地域福祉課長、桜 井子育て支援課長、飯野子育て支援課課長補佐兼子育て支援係長、 高橋子育て支援課子ども給付係長、佐久間主事
会議次第と会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	なし
会議資料の名称	第3回次第 吉川市子どもの貧困対策推進計画(案)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

1 開会

これより第3回吉川市子どもの貧困対策推進計画策定委員会を開会する。

(傍聴及び会議公開の確認)

2 委員長あいさつ

大岡委員長

本日は1月の月末のお忙しい中お集まりいただき感謝したい。本日の第3回吉川市子どもの貧困対策推進計画策定委員会は、次第にあるように子どもの貧困対策推進計画案について審議する。これまでの委員の皆様からご意見をいただいたところで、本日は最後の審議となる。本日の資料は計画案であり、今一度全体を通して確認・審議を進めつつ、この時間の中で計画案としてまとめていきたい。

3 議事

大岡委員長

本日の出席委員は7名中7名であり、定足数に達しており会議が成立していることを確認した。

(会議録署名委員の確認：清水委員、長瀬委員)

それでは議事、吉川市子どもの貧困対策推進計画(案)について審議を進めていく。事務局より説明をお願いしたい。

(事務局より、資料 吉川市子どもの貧困対策推進計画(案)について説明)

大岡委員長

事務局からの説明について、質疑をお受けする。

文言で気になったところを指摘したい。まず19ページの左側と、20ページの表の作り方と体裁を合わせていただきたい。

続いて、内容のことではないが、気になった点として、13

ページで生活保護受給者数が出ており、小学生・中学生の数が
出ているが、そこと照らし合わせると就学援助の認定率の
ところで、令和4年度で、生活保護世帯で小学校の子どもが20人
いるにもかかわらず13人、中学校で言えば、12人いるはず
だが6人になっている。就学援助の要件を満たしていない、希
望をしていない、などあるかもしれないが、どうなっているの
か。

続いて21ページの表だが、上は黒抜きなのに下が白抜きな
ので、統一すべき。

続いて23ページ。年代別で見ると、ではなく、他の年齢の
家庭よりも、といった形にしてはどうか。

続いて28ページ。よく見ると複数回答なので、その旨記し
た方がよい。

続いて第3節で45ページの施策の3-2。お寺よりは寺院
という書き方がよい。

続いて46ページ。子どもの育ちに直接つながる支援が必要
というところで、朝食欠食という言葉がきつい気がするため、
朝食を食べないという表現がよい。また、身体活動は外して、
運動・睡眠・口腔ケアと具体的に入れた方がよい。

事務局

ご指摘をいただいた文言等については、今一度整理して修正
する。また、13ページ・20ページで就学援助のご指摘をい
ただいた。こちらについては、生活保護世帯がしっかりと就学
援助につながっているのかという視点で、子どもの貧困対策を
考える上では、この視点をしっかり取りつつ取り組むことが必要
だと考えている。例えば、生活保護世帯で全てが就学援助の制
度を利用されなくても、既に生活保護制度で支援が受けられて
いる状況もある。そこは地域福祉課と就学援助を担っている教
育総務課において相互に確認をし合っている。例えば修学旅行
に行く場合には、生活保護の方では対象にできず、就学援助の

	<p>方で対象になるため、そこは連携し合いつつ進めている。その旨相互の視点は関係課で確認をしたい。</p>
大岡委員長	<p>47ページで子どもの居場所づくりの上から3行目。学びの機会が欠如よりは不足という形にした方がよい。</p>
長瀬委員	<p>47ページ、48ページにおいて取り組みと取組の表記がある。漢字2文字は丸くない。4文字にした方が丸く収まるのではないか。</p>
事務局	<p>第1期の計画では取組みと表記している。今回調整の段階で、漢字2文字で統一しようとしてきたのだが、今一度検討したい。</p>
長瀬委員	<p>公文書的には漢字2文字のようだが、これではきついと感じた。</p>
大岡委員長	<p>第4章について。56ページで先ほどの朝食欠食を直していただきたい点。更に一番下のところで、多様な背景の子どもへの支援が必要というところで、深刻化する傾向にあると言いきるのではなく、ことが懸念されるという表記にした方がよい。</p> <p>また、60ページで図書館を入れていただき感謝したい。子どもの映画界などとても良い取組みをしていることが分かったので、お話し会・子ども映画界等、といった表記をしていただけるとより伝わりやすいと思う。</p> <p>次に61ページ。日本語教室というのは市民活動推進課の取り組みだと思うが、担当課の表記をした方がよい。</p> <p>次に64ページ。保護者への養育支援が必要というところで、健康状態が変化することにより課題が複雑化することがうかがわれるという表記は、懸念されるという表記にした方がよい。</p> <p>次に69ページ。社会的需要のところはこれだけでは分かり</p>

	<p>づらいので、傷病等ということで具体例を入れた方がよい。</p> <p>次に70ページのコラム。困った時に頼ってください、よりは、利用してください、の方が気軽に受けやすいと思う。せっかく吉川市の子ども・子育て応援サイトがあるので、そういったところも具体的に書いた方がよいのか、その辺4年後がどうなっているか読めないところではあるが、具体的な応援サイトのことを具体的に書いてもよいのではないかと思った。もし子ども子育て応援サイトをやっているならば、社協がQRコードを載せていたように、場合によってはQRコードを載せてアクセスできるようにしてもよいのではないかと思った。</p> <p>次に73ページ。子どもにかかわる費用負担を軽減するための支援が必要ということで、中身を見てみると家庭の部分にも入ってくると思ったので、子どもや家庭にかかわる費用の軽減、とした方がよいと思う。</p> <p>次に76ページ。多子世帯がすごく目立つが、取り組みの内容に合わせるならば、ひとり親・多子世帯・障がい児の順にすべきであるし、多い順に並べることも一考かと思った。</p> <p>次に79ページのコラム。ひとり親家庭のお子さんに、よりは、普通に、子どもに、でよいのではないか。</p> <p>文言等に関しては、確かに全体の整合が図れていない部分があった。多子世帯の順番は、ひとり親を先にした方が適切だと思うので見直したい。またコラムに関しては、現時点で新規のガイドブックをQRコードで表すというのはこれからの展開となっているため、可能な範囲で分かりやすい表現という視点で見直しをしたい。</p> <p>委員長が61ページの市民活動推進課とおっしゃったのは、どの項目か。</p>
--	--

事務局

清水委員

大岡委員長	<p>外国籍の子どもの話である。</p>
清水委員	<p>これは学校教育課が所管課で予算立ては行っているが、学校から学校教育課に上げて、そこから市民参加につながっている ので、それがよいと思った。</p>
大岡委員長	<p>資料編の96ページ。乳児家庭全戸訪問のところだが、ここ が子育てに役立つ情報をお伝えし、となっているが、提供し、 の方がよい。</p>
事務局	<p>【市内居住者の特別支援学校に在籍する児童・生徒の人数に ついて】という資料を配布している。前回第2回の策定委員会 において委員長より現状の確認のご要望があった資料で、今年 度の特別支援学校に通学する児童・制度の一覧である。</p>
大岡委員長	<p>このあたりは生活実態調査から漏れているところで、ここで 言えば22ページになるが、どのぐらいここから漏れていて、 支援の必要な子どもたちがいるのかというところを把握するた めに出していただいた。思ったよりはいないと思ったが、引き 続き特別支援学校に通う子どもたちは増えていくと思うので、 支援をお願いしたい。</p>
清水委員	<p>42ページのC評価について。第1期の吉川市子どもの貧困 対策推進計画で推進してきた結果が載っていて、行政的にはこ れでよいと思うが、Cの説明をもうちょっと柔らかくしてはど うか。推進したかったができなかったという方がよいのではな いか。これでは非常に重い感じがする。これは対面でできなかつ たということだが、コロナウィルスの影響と書けばそれに全 部包含されるが、行政的にはやりたかったことなのだという表 記があってもよいと思った。</p>

大岡委員長	寺子屋事業など特に対面を重視した結果できなかったというところがあるかと思う。
山崎副委員長	寺子屋などもコロナで中止をしていたが、今年度は復活している。指標のところスタート団体が0となっており、気持ちとしては行政もそうだが、団体としてもモチベーションが下がる気がするので説明がほしいところである。
大岡委員長	やむを得ずといった表記が入られるとよいと思う。プラス、令和4年度からはできているといった表記もできるのではないか。
山崎副委員長	当初値が22年になってしまうので、やむを得ないのだが。
大岡委員長	<p>意見をいただいたものについて、今一度事務局にてご検討いただくものもあるが、調整は委員長に一任をしていただきまとめさせていただきたい。</p> <p>吉川市子どもの貧困対策推進計画案について、皆様にお諮りしたい。この案を当策定委員会の総意と決定することに賛成の方、挙手をお願いしたい。それでは全員賛成のため決定する。市長への報告については、事務局通じて行うものとする。事務局は対応をよろしくお願いしたい。</p> <p>以上をもって議事については全て終了したので、議長の職を解かせていただく。ご協力に感謝したい。</p>
4 その他 事務局	次第4、その他について、事務局より連絡。

<p>こども福祉部 伴部長</p>	<p>今後事務局が委員長と個別の文言の修正、全体の体裁調整などを行う。その上で、策定委員会での計画案を市長に報告をさせていただきたく。また、計画案に関しては、3月には計画として策定し、公表を進めたい。その上、4月より第2期計画を進めていく。</p> <p>本日は最後の策定委員会ということで、こども福祉部長の伴より一言挨拶申し上げる。</p> <p>大岡委員長を始め、委員の皆様には本計画案の作成に当たり多大なるお力をお貸しいただき改めて御礼申し上げます。現行計画がスタートしたのが2019年。県下でも早い取り組みであったが、これまで5年間、いろいろとこの問題、そして関係する事業に取り組ませていただき分かったこととして、この問題は深く大きな問題であるため、行政だけでは力が及ばない領域であるということがあった。そして何より大切なのは、地域の方々のお力であり、市民の方々の理解であり、その辺がこの問題の解決、改善のキモになると感じてきた。現在市では来年度の予算の詰め作業をしている。この計画に関連するものも、財政当局と最後の調整を行っている。何とかしっかり獲得し、取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>結びにあたり、新しい計画に盛り込んだことを着実に実施できるよう、事務局としても力を入れて取り組むこととお約束し、御礼のごあいさつとさせていただきます。</p>
<p>5 閉会</p> <p>山崎副委員長</p>	<p>次第5、閉会に当たり、山崎副委員長より挨拶。</p> <p>皆様、大変お疲れ様でした。また、委員長には細かいところまで見ていただきお礼申しあげる。今部長からも話があった通り、この計画の実現、少しでもよい方向に向けていくには、皆</p>

	<p>さんの協力が本当に必要だと思っている。社協としてもいろいろなところと連携し、少しでも子どもたちが希望を持って過ごせるようにというところを目指しているが、今後も引き続きつながり続けていただくようお願いしたい。</p>
--	--

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和6年2月27日

署名委員 清水 孝二

署名委員 戸張 計子